

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和4年度）2022

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	11	26	土	8:30	16:00	毛呂山大類の森	1名
活動名称	大類の森プレーパーク秋					報告者：吉井 優	

1. 活動目的

我々つるがしま里山サポートクラブの理事を務める毛呂山町の小澤弘さんが地元毛呂山で、2020年に「里山サポートクラブもろやま」を立ち上げました。鶴ヶ島での経験を活かし、地元の樹林地を整備し、子どもたちに楽しい野外体験を提供し、地元を盛り上げようという趣旨です。

2021年から子ども夢基金の自然体験助成に応募し、大類の森プレーパークを始めました。鶴ヶ島では、2013年から森のプレーパークを開催し、地域の子どもたちに親しまれてきました。これを近隣の市町村にも広まってほしいと願っていました。坂戸市では、「一二三富の会」が、につきい堀米の森プレーパークを開催しています。子ども夢基金の助成による資金調達や子供たちに提供する森の遊びについて我々のノウハウを活かしながら、各地域の特色を取り入れ子どもたちの自然体験が広がっていくのは我々の大切な活動目的です。

2. 活動内容ほか

昨年同様ですが、穴掘り、ブランコ、ハンモック、綱渡り、竹細工、古墳の森探検に加え、今年からバンブーパンを追加しました。また竹細工では、竹で弓を作的に当てるプログラムを始めました。毛呂山町は、流鏝馬行事で有名ですが、今回の弓の的は、本物の流鏝馬の的を借りてきて、設置するという地元の特色ができました。昨年から実施している鎌倉街道ガイドツアーは、毛呂山町の歴史を語るうえで最も大切な情報となるでしょう。

[\(362\) お家で楽しむ！ 鎌倉街道ガイドツアー - YouTube](#)

3. 評価：

今回は40名弱の子どもたちが森いっぱい遊び周り楽しむ声であふれている印象でした。保護者の方も楽しんでいました。綱渡りは、昨年同様一番人気で、最初から最後までし、子どもたちに大うけでした。最後に保護者の方も綱渡り挑戦し、おおいにはしゃいでいました。穴掘りも、子どもたちには新鮮な体験となるようです。今回は縄文土器の破片もいくつか見つかり、そんな楽しみもありました。

今年から始めたバンブーパンは、雨あがりのやや寒さを感じる現場ということもあり、焚火を囲みながら初めて自分焼いて食べるバンブーパンに、参加の子どもはもちろん保護者も夢中で取り組んでいました。

4. 課題

今回、つるがしま里山クラブからの参加者が1名でしたが、綱渡りのロープ張りなどに、ベテランの人材が欲しいとリクエストをいただきました。これから徐々にメニューを増やしていくには、スタッフが不足することが考えられます。鶴ヶ島からもう何名か援助に行けるとよいなと思います。次回は3月18日開催です。

<里山参加会員> 吉井

<活動写真>

